

井上 進教授 略歴・業績

〈略 歴〉

1976年 4月	京都大学文学部入学
1980年 3月	同上（東洋史学専攻）卒業
1980年 4月～81年 3月	同上聴講生
1981年 4月	同上大学院文学研究科（東洋史学専攻）博士前期課程入学
1983年 3月	同上修了
1983年 4月	同上博士後期課程進学 (1983年10月より翌84年 6月まで、北京大学哲学系に高級進修生として留学)
1984年 6月	同上中退
1984年 7月～1991年 3月	京都大学人文科学研究所東方部助手
1991年 4月～1996年 9月	三重大学人文学部助教授
1996年10月～1998年10月	名古屋大学文学部助教授
1998年11月～2000年 3月	名古屋大学文学部教授
2000年 4月～2017年 3月	名古屋大学文学研究科教授
2017年 4月～	名古屋大学人文学研究科教授

学会委員等（現在担当中のもの）

東洋史研究会評議員
史学研究会評議員
東方学会学術委員
名古屋大学東洋史研究会会長

受 賞

第十回東方学会賞（1991年11月受賞）

全学委員等

全学交通委員会委員長
附属図書館商議員
和漢古典籍整理専門委員会委員

〈業 績〉

単行本

- 1 『顧炎武』(白帝社、1994、277頁)
- 2 『三重県公蔵漢籍目録』(三重県図書館協会、1996、212頁)
- 3 『中国出版文化史—書物世界と知の風景—』(名古屋大学出版会、2002、396頁)
- 3 b 韓国語訳 イ・ドンチョル(李等哲)、チャン・ウオンチョル(張源哲)、イ・ジョンヒ(漢字未詳)共訳 ミンウンサ(民音社) 2013年
- 3 c 中国語訳 李俄憲訳 華中師範大学出版社 2015年
- 4 『中国における近代思惟の挫折1・2』(補注解説・島田慶次著、平凡社東洋文庫716・718、2003、247頁・297頁)
- 5 『金沢市立玉川図書館近世史料館蔵漢籍目録』(浅野純一との共著、金沢市立玉川図書館、2004、168頁)
- 6 『書林の眺望』(平凡社、2006、413頁)
- 7 『増補 明代詩文』(補注解説・入矢義高著、平凡社東洋文庫764、2007、449頁)
- 8 『明清学術変遷史—出版と伝統学術の臨界点』(平凡社、2011、536頁)
- 9 『明史選挙志1』(酒井恵子との共訳注、平凡社東洋文庫839、2013、339頁)
- 10 『明史選挙志2』(酒井恵子との共訳注、平凡社東洋文庫899、2019、464頁)

論文

- 1 「復社の学」(『東洋史研究』44-2、1985、p. 40-70)
- 2 「漢学の成立」(『東方学報』61、1989、p. 223-319)
- 3 「張氏顧亭林先生年譜補正」(岩見宏・谷口規矩雄編『明末清初期の研究』京都大学人文科学研究所、1989、p. 403-459)
- 4 「蔵書と読書」(『東方学報』62、1990、p. 409-445)
- 5 「方志の位置」(『山根幸夫教授退休記念明代史論叢』汲古書院、1990、p. 1289-1306)
- 6 「北溪字義版本考」(『東方学』80、1990、p. 111-125)
- 7 「樸学の背景」(『東方学報』64、1992、p. 279-344)
- 8 「復社姓氏校録」(『東方学報』65、1993、p. 537-668)
- 9 「続張氏顧亭林先生年譜補正」(『颯風』28、1993、p. 40-46)
- 10 「書肆・書賈・文人」(荒井健編『中華文人の生活』平凡社、1994、p. 304-338)
- 11 「日本に現存する漢籍について」(『ふびと』46、三重大学歴史研究会、1994、p. 18-32)
- 12 「明代の思想と文化」(谷口規矩雄編『アジアの歴史と文化』同朋社、1994、p. 72-89)
- 13 「六経皆史説の系譜」(小野和子編『明末清初の社会と文化』京大人文研、1996、p. 535-585)
- 14 「内藤湖南蔵本文史校讐通義記略」(『東方学会創立五十周年記念論文集』東方学会、1997、p. 45-58)
- 15 「出版文化と学術」(森正夫編『明清時代史の基本問題』汲古書院、1997、p. 531-555)
- 15 b 中文訳「出版文化と学術」(《明清時代史の基本問題》商務印書館、2013所収)
- 16 「『千頃堂書目』と『明史芸文志』稿」(『東洋史研究』57-2、1998、p. 71-100)

- 16b 中文訳「《千頃堂書目》与《明史藝文志》稿」（楊永政訳、南京大学古典文献研究所《古典文献研究》22-上、2020、p. 228-245）
- 17 「四部分類の成立」（『名古屋大学文学部研究論集』134、1999、p. 323-333）
- 18 「芸術の背景」（宮崎法子編『世界美術』八、小学館、1999、p. 9-16）
- 19 「本の話—書と本—」（『名古屋大学中国語学文学論集』12、1999、p. 1-21）
- 20 「明末の避諱をめぐって」（『名古屋大学東洋史研究報告』25、2001、p. 234-249）
- 21 「明末清初の出版と出版統制（前編）」（磯部彰編『東アジア出版文化研究 こはく』知泉書館、2004、p. 43-60）
- 22 「明代中期の出版と学術風気」（『名古屋大学東洋史研究報告』29、2005、p. 19-39）
- 23 「伊達文庫蔵本を中心とする漢籍について」（『平成16年度宮城県図書館貴重資料専門調査報告書』宮城県図書館、2005、p. 60-73）
- 24 「読む書物、見る書物——伝統中国の絵本」（『月刊百科』512~5、2005、512号 p. 26-31、513号 p. 30-35、514号 p. 30-35、515号 p. 28-34）
- 25 「目録学……読書の門径」（礪波護他編『中国史研究入門』名古屋大学出版会、2006、p. 316-326）
- 26 「文化の雅と俗」（『中国—社会と文化』21、2006、p. 3-32）
- 27 「明末の出版統制とその後」（『名古屋大学東洋史研究報告』32、2008、p. 31-64）
- 28 「論明代前期出版の変遷与学術」（《2008年北京論壇論文摘要集》2008、p. 597-611）
- 29 「好むことと知ること……青木正児の学問にちなんで」（『名古屋大学中国語学文学論集』20、2008、p. 1-22）
- 30 「明代活字本小考」（“Creating and Keeping Records in Korea: The 2nd Kyujanggak International Symposium on Korean Studies” 2009、p. 365-387、韓・日文）
- 31 「論明代前期出版の変遷与学術」（『北大史学』第14輯、2009、p. 1-17。北京論壇論文の改訂版）
- 32 「明代活版考」（『名古屋大学東洋史研究報告』34、2010、p. 29-48）
- 33 「元版与明初百年刊本の連続性……従版本審定説起」（『故宮文物月刊』357、2012、p. 110-119）
- 34 「台北所見明版書選録 一（経部）」（『名古屋大学東洋史研究報告』38、2014、p. 97-132）
- 35 「観海堂蔵書点滴」（『故宮文物月刊』376、2014、p. 28-35）
- 36 「台北所見明版書選録 二（史部）」（『名古屋大学東洋史研究報告』39、2015、p. 93-130）
- 37 「版画書の来龍去脈」（『故宮文物月刊』389、2015、p. 24-35）
- 38 「台北所見明版書選録 三（子部）」（『名古屋大学東洋史研究報告』40、2016、p. 103-140）
- 39 「台北所見明版書選録 四（集部）」（『名古屋大学東洋史研究報告』41、2017、p. 153-190）
- 40 「巾箱本の雅与俗」（『故宮文物月刊』430、2019、p. 22-30）
- 41 「『万曆野獲編』の版本問題」（『名古屋大学東洋史研究報告』43、2019、p. 51-73）
- 42 「『万曆野獲編』校記（一）」（『名古屋大学東洋史研究報告』44、2020、p. 81-99）

その他

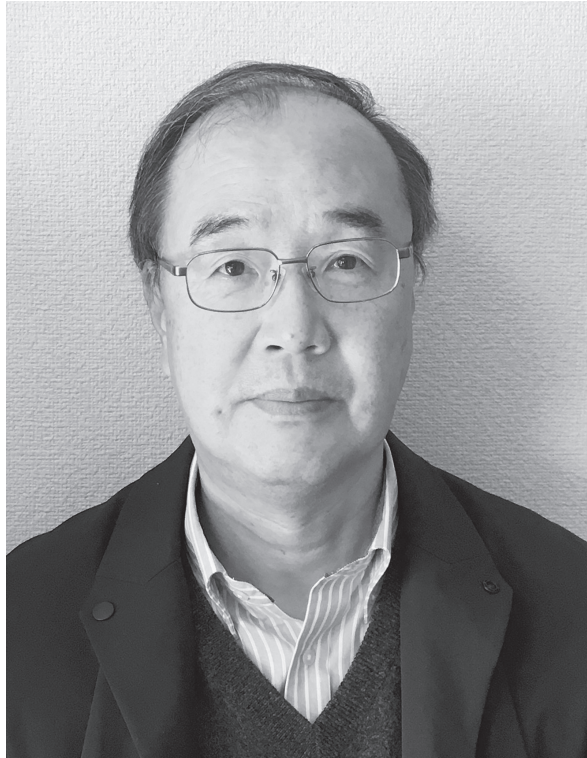
- 1 「旧書筆記」（『颯風』25、1991）
- 2 「旧書筆記（二）」（『颯風』27、1992）

- 3 「旧書筆記（三）」（『颯風』28、1993）
- 4 「旧書筆記（四）」（『颯風』30、1994）
- 5 「津市図書館の漢籍にちなんで」（『津市民文化』22、1995）
- 6 「陳寅恪のことなど」（『颯風』34、1998）
- 7 「史学の領分」（週刊朝日百科『世界の文学』103、2001）
- 8 「島田虔次先生の記憶」（『颯風』35、2001）
- 9 「先達の書あれこれ」（『東洋文庫ガイドブック』平凡社、2002）
- 10 「旧書筆記（五） 金沢の漢籍」（『颯風』36、2002）
- 11 「伝統中国における出版文化」（『大学出版』57、2003）
- 12 「旧書筆記（六） 書価」（『颯風』37、2003）
- 13 「玩物の説……書物とのつきあい」（『東方』280、2004）
- 14 「漢籍目録というもの」（『蓬左』69、2006）
- 15 「旧書筆記（七） 京滬買書記一」（『颯風』41、2006）
- 16 「旧書筆記（八） 京滬買書記二」（『颯風』43、2007）
- 17 「岩元文庫訪書記」（鹿児島大学附属図書館報『南風』63、2008）
- 18 「旧書筆記（九）」（『颯風』45、2008）
- 19 「旧書筆記（十） 京滬買書記三」（『颯風』46、2009）
- 20 「版本探求の意味、面白さ」（『斯道文庫論集』46、慶應大学斯道文庫、2012）
- 21 「旧書筆記（十一） 台北に書を訪うの記」（『颯風』51、2012）
- 22 「旧書筆記（十二） 亭林集外詩文のことなど」（『颯風』55、2016）
- 23 「旧書筆記（十三） 京滬買書記四」（『颯風』59、2020）

学会発表・講演等（2000年以降）

- 1 2000年11月、京都大学人文科学研究所・漢字情報センター、漢籍講習会講師
- 2 2001年9月、上野市教育委員会、崇広堂修復完成記念講演会（於上野市）講演
- 3 2001年12月、第一回東アジア出版文化に関する国際学術会議（於東京、学術総合センター）パネラー
- 4 2002年8月、大学出版会セミナー（於名古屋、厚生年金会館）講演「伝統中国における出版文化」
- 5 2002年10月、京都大学人文科学研究所・漢字情報センター、漢籍講習会講師
- 6 2002年11月、慶應大学斯道文庫講演会・講演「明清時代の出版文化——17・18世紀の出版と出版統制」
- 7 2003年10月、京都大学人文科学研究所・漢字情報センター、漢籍講習会講師
- 8 2004年7月、絵入本ワークショップ（実践女子大文芸資料研究所主催、於仙台市博物館）研究発表「伝統中国における挿図本の位置」
- 9 2005年6月、全国大学国語国文学会五十周年記念大会シンポジウム（於東京・日本女子大）パネリスト報告「通俗化と世俗化——中国における印刷テキストの登場」
- 10 2005年7月、中国社会文化学会2005年度大会（於東京大学）・シンポジウム報告「文化の雅と俗」

- 11 2005年10月、名古屋大附属図書館秋季特別展「知の万華鏡：書物から見た十八世紀の西洋と東洋」講演「書物の明清交代……17世紀から18世紀へ」
- 12 2007年1月、第20回慶應義塾図書館貴重書展示会「義塾図書館を読む」講演「漢籍からたどる中国の伝統文化」
- 13 2007年5月、京都女子大学公開講座講演「明末の異人・真人」
- 14 2007年10月、名古屋大附属図書館秋季特別展「文人と風雅《中国文学者青木正児の世界》」講演「知ることと好むこと」
- 15 2008年11月、東洋史研究大会（於京都大学）研究発表「明代前半期における出版の変遷」
- 16 2008年11月、中国・北京論壇（於北京大学）講演「論明代前期出版的変遷与學術」
- 17 2009年8月、韓国・奎章閣国際韓国学シンポジウム（於ソウル大学）講演「明代活字本小考」
- 18 2010年12月、慶應大学斯道文庫五十周年記念シンポジウム 講演「版本探求の意味、面白さ」
- 19 2011年12月、台北・故宮博物院・專題演講「從趙体黒口到“活字銅板”……談談明代前期出版的歷程」
- 20 2015年7月、台北・故宮博物院「明清版画工作坊」專題演講「版画書の来龍去脈」
- 21 2019年1月、韓国・成均館大学東アジア漢文学研究所招待講演「明代における出版と學術の轉換期」



井 上 進 教 授